

2024 年度

看護師特定行為研修

募集要項



公益社団法人
大阪府看護協会

2024年度 公益社団法人 大阪府看護協会 特定行為研修

I. 特定行為に係る看護師の研修（以下、特定行為研修）の概要

1. 教育理念

チーム医療のキーパーソンである看護師が患者及び国民、並びに医師及び歯科医師その他の医療関係者から期待される役割を十分に担えるよう、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、人間への深い洞察と高度な臨床実践能力を発揮するための、自己研鑽を継続する基盤を構築する。

2. 教育目的

- 1) 地域医療および高度医療の現場において特定行為を行う上で、病態変化や疾患の迅速かつ包括的なアセスメントを行うための知識、技術、態度の基礎的能力を養う。
- 2) 患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実行できる能力を養う。
- 3) 医師を含む多職種との連携において、協同し各専門職が効率的・効果的に医療・看護ケアを実践できるようコーディネート力を養う。
- 4) 常に看護実践を内省し、主体的に学び続ける姿勢を持つと共に、社会に貢献していく責任及び役割の自覚を強化する。
- 5) 医師又は歯科医師より手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を養う。

3. 本機関における特定行為研修の特徴

厚生労働省の提示する教育カリキュラムに則り、講義・演習・実習により構成する。

- 1) 「共通科目」と13の「区分別科目」を実施する。
- 2) 令和元年以降の厚生労働省省令の一部改正により、現場での活用に資する、実施頻度の高い特定行為を領域別パッケージコースとして開講する。

「在宅・慢性期領域」
「救急領域」
「外科系基本領域」

- 3) 研修形態は、e-ラーニングでの講義と演習、実習と連携協力施設における臨地実習で構成する。
- 4) 研修場所は、大阪府看護協会ナースングアート大阪とし、高度な技術習得と実践力の強化を目指し、医療研修施設「ニプロ iMEP(アイメップ)」を使用する。 ※iMEP は場所・教材の提供のみ
- 5) 特定行為研修区分別科目の臨地実習は原則、受講者の所属する施設で実施する。実習施設は、事前に大阪府看護協会の連携協力施設としての届け出を厚生労働省に行うものとする。連携協力施設は、指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制を確保できるものとする。
※ 実習施設にて該当区分の症例数が確保できない、指導医がいないなどの理由で自施設実習が困難な場合は、連携のとれる協力機関を確保しておくこと。

4. 研修受講資格

- 日本看護協会の認定看護師制度に基づく認定看護師の資格を持つ者
- 日本看護協会の専門看護師制度に基づく専門看護師の資格を持つ者

5. 定員： 特定行為区分・履修時間・定員

1) 基本コース： 全ての受講者が受講する共通科目と必須の区分別科目で構成される

科目名	時間
共通科目	250
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必須の区分別科目）	16

2) 選択コース： 基本コースの受講に加え、以下の区分別科目や領域別パッケージコースを選択できる
基本コースを修了している者は、区分別科目のみを選択できる

選択番号	区分別科目名/領域別パッケージコース	時間
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	9
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	8
4	ろう孔管理関連	22
5	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7
6	創傷管理関連	34
7	創部ドレーン管理関連	5
8	動脈血液ガス分析関連	13
9	感染に係る薬剤投与関連	29
10	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16
11	循環動態に係る薬剤投与関連	28
12	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26
13	術後疼痛管理関連	8
14	領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」	311
15	領域別パッケージコース「救急領域」	332
16	領域別パッケージコース「外科系基本領域」	345

3) 定員：①～④ 総数 50名

①基本コースのみ
②基本コースの受講に加え、区分別科目を選択
③区分別科目のみを選択
④領域別パッケージコースを選択

6. 実施日程

2024年4月	開講式
4月～7月	共通科目 :eラーニングによる講義、演習、実習などは集合研修
4月～9月	区分別科目 :eラーニングによる講義、演習、実習などは集合研修
9月～12月	区分別科目:臨地実習
2025年2月	修了式

※eラーニングでの講義の期間中に、演習や実習、観察評価(OSCE)のため集合研修がある。

※領域別パッケージコースの在宅・慢性期領域、救急領域、外科系基本領域についても共通科目・区分別科目の実施日程は同様である。

※臨地実習は、選択区分数によって実習開始・終了期間は異なる。

7. 受講の概要

- ・共通科目 250 時間と区分別科目の「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必須とする。
- ・受講決定後は原則、受講科目の変更・追加は認めない。
- ・認定看護師の分野に関係なく、個々の活動の場のニーズに応じて区分別科目を選択することが可能である。また、1区分のみの履修にも対応している。
- ・特定行為研修を修了している者であれば、区分別科目のみの受講も可能である。

8. 科目名と時間数

1)共通科目

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学／特定行為実践	45 時間
合計時間	250 時間

2) 区分別科目

区分別科目名	特定行為名	指定時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9 時間
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	29 時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	8 時間

区分別科目名	特定行為名	指定時間数
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	22 時間
	膀胱ろうカテーテルの交換	
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	34 時間
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5 時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間
	橈骨動脈ラインの確保	
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	29 時間
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16 時間
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	28 時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	26 時間
	抗精神病薬の臨時的投与	
	抗不安薬の臨時的投与	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間

3) 領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」

共通科目		250 時間
特定行為区分	特定行為	指定時間数
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	8 時間
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテルもしくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	16 時間
	※膀胱ろうカテーテルの交換	免除
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	26 時間
	※創傷に対する陰圧閉鎖療法	免除
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	※持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	免除
	脱水症状に対する輸液による補正	11 時間
合 計		61 時間
総 合 計 (250 時間+61 時間)		311 時間

4) 領域別パッケージコース「救急領域」

共通科目		250 時間
特定行為区分	特定行為	指定時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管用チューブの位置の調整	9 時間
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	29 時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	※持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	免除
	脱水症状に対する輸液による補正	11 時間
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	14 時間
	※抗精神病薬の臨時的投与	免除
	※抗不安薬の臨時的投与	免除
合 計		76 時間
総 合 計 (250 時間+76 時間)		326 時間

5) 領域別パッケージコース「外科系基本領域」

共 通 科 目		250 時間
特定行為区分	特定行為	指定時間数
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	26 時間
	※創傷に対する陰圧閉鎖療法	免除
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5 時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	9 時間
	※橈骨動脈ラインの確保	免除
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	※持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	免除
	脱水症状に対する輸液による補正	11 時間
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	29 時間
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間
合 計		95 時間
総 合 計(250 時間+95 時間)		345 時間

<注意事項>

※ 3) 領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」、4) 領域別パッケージコース「救急領域」、5) 領域別パッケージコース「外科系基本領域」に関しては、※印の特定行為については免除されるため、履修対象とならない。

※ 修了証は、修了した特定行為についてのみ発行する。

※ 領域別パッケージコースの研修修了者は、「免除」の特定行為は実施できない。

Ⅱ. 応募方法

1. 出願手続き

「2024 年度 特定行為研修 募集要項」から各様式をダウンロードし応募する。

2. 出願提出書類

1) 受講申請書類一式

- | | |
|--|----------|
| (1) 受講申請書 | (様式 1) |
| (2) 履歴書 | (様式 2-1) |
| (3) 希望する区分別科目に関する施設情報・受講動機 | (様式 2-2) |
| (4) 受講申請許可書(受講同意書) | (様式 3) |
| (5) 推薦書 | (様式 4) |
| (6) 入学審査料払込通知 | (様式 5) |
| (7) 看護師免許証の写し(A4 版縮小コピー) | |
| (8) 認定看護師認定証又は専門看護師認定証の写し(A4 版縮小コピー) | |
| (9) 特定行為研修修了書の写し(選択コースのみの受講希望者(A4 版縮小コピー)) | |
| (10) 審査合否結果送付用封筒(長形 3 号封筒 120×235mm、444 円分切手貼付、住所・氏名明記、「簡易書留」と朱書き) | |
| (11) 出願書類確認用紙(確認欄チェック入り) | |

3. 出願書類提出方法

封筒の表に「特定行為研修受講申請書在中」と明記の上、簡易書留で下記まで郵送すること。

〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 2-5-25

公益社団法人 大阪府看護協会 教育研修部 特定行為研修担当

4. 出願期間 **2023 年 12 月 1 日(金) ～ 2024 年 1 月 19 日(金)17 時必着**

5. 審査料納付方法

- | | |
|---------|---|
| 1) 審査料 | 22,000 円(税込) ※日本看護協会非会員の審査料は 2 倍とする。 |
| 2) 納付期限 | 2023 年 12 月 1 日(金)～2024 年 1 月 19 日(金) |
| 3) 振込先 | 郵便局の場合は振込取扱票に、銀行の場合は振込依頼人名義の前に「受験者氏名」を明記し、下記口座へ振込む。
受領証のコピーを提出(様式 5 に貼付)する。
振込手数料は受験者負担とする。 |

◎ゆうちょ銀行 口座番号:00980-6-93268 加入者名:公益社団法人 大阪府看護協会

4) 注意事項

- ・既納の審査料は原則として返還しない。
- ・「振込受領証」をもって審査料の領収書とする。

Ⅲ.選考方法

1. 選考方法 書類審査
2. 合否発表 2024年1月31日(水)に本人宛に合否結果を簡易書留にて発送する。
ただし、審査の結果、希望した区分別科目を受講できない場合がある。

Ⅳ. 研修受講料について

1. 入学金 30,000円(税抜) ※日本看護協会非会員の入学金は2倍とする。
※大阪府看護協会認定看護師教育課程、特定行為研修の受講歴がある方は入学金を免除とする。
2. 受講料一覧 ※日本看護協会非会員は、受講料は2倍とする

科目名	時間	金額(円)(税抜)
共通科目	250	300,000
(必須)栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16	50,000

領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」	311	540,000
領域別パッケージコース「救急領域」	332	620,000
領域別パッケージコース「外科系基本領域」	345	720,000

呼吸器(気道確保に係るもの)関連	9	50,000
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29	80,000
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	8	50,000
ろう孔管理関連	22	70,000
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	7	50,000
創傷管理関連	34	100,000
創部ドレーン管理関連	5	50,000
動脈血液ガス分析関連	13	70,000
感染に係る薬剤投与関連	29	80,000
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16	50,000
循環動態に係る薬剤投与関連	28	80,000
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26	80,000
術後疼痛管理関連	8	50,000

- ※ パッケージコースは、共通科目を含めた受講料である
- ※ 区分別科目によっては演習の材料費を別途請求することがある。
- ※ 研修のための宿泊及び交通費は本人負担となる。

3.奨学金のご案内について

本研修は日本看護協会奨学金の対象であり、特定行為研修を受講する全ての認定看護師の方を支援する。
手続きについては日本看護協会ホームページでご確認下さい。(2023年度参考)

問い合わせ先：公益社団法人 大阪府看護協会 教育研修部 特定行為研修担当
〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 2-5-25
TEL 06-6964-5550